

第3回堺市美原区政策会議

日時 令和8年1月29日(木) 午後7時02分～20時41分

場所 美原区役所 5階 大会議室

出席者：

【構成員】 東構成員、阿部構成員、磯部構成員、氏林構成員、浦構成員、高岡構成員、高城構成員、田中副座長、釣井構成員、豊岡構成員、鳥井構成員、永井構成員、西村構成員、伯井構成員、堀内座長、松本構成員、大和構成員、湯井構成員

【事務局】 小川区長、澤副区長、北口課長、荻野課長補佐、奥田

【美原区役所関係職員】 西本保健福祉総合センター所長、久保自治推進課長、上田美原保健センター所長、宮同所長代理

会議：公開会議

傍聴：傍聴者数1人

1 開会

2 会議報告

「事務局から配布資料の確認、会議の公開についての説明、傍聴人数の報告」

3 区長あいさつ

○小川区長 皆様、こんばんは。美原区長の小川でございます。

構成員の皆様には、大変お忙しい中、堺市美原区政策会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。皆様には、日頃から堺市政及び美原区政全般にわたり、格別のご支援、ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

また、昨年11月2日に開催いたしました「みはら区民まつり」では、ブースの出展やまつりの運営サポートスタッフなど、構成員の皆様をはじめ多くの方々にお力添えをいただきました。皆様のご協力のおかげで、笑顔あふれるまつりとなりましたこと、心より感謝申し上げます。

改めまして、日頃より地域活動にご尽力をいただいている皆様に、深くお礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、この堺市美原区政策会議は、区の実情や特性に応じた政策形成を進め、特色ある区行政の実現を図るため、区民参画と区長の政策立案を支える行政運営上の懇話会として開催いたしております。

今年度は、次期堺市美原区基本計画（以下、「美原区ビジョン2030」という。）策定に向けた議論や意見聴取を行い、皆様からいただいた貴重なご意見を基に計画案を作成いたしました。本計画は1月21日までに実施した意見募集の内容を反映いたしまして、3月末に策定を予定しております。令和8年度以降は、この新計画に基づき施策を進めてまいります。

本日は、新たに美原区ビジョン2030に加えました健康分野につきまして、皆様から広く意見を頂戴いたしまして、施策を進める上で参考とさせていただきたいと考えております。構成員の皆様には、それぞれのお立

場から積極的にご意見、ご助言をいただきますようお願い申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

4 事務局からの報告事項

○奥田企画総務課 続きまして、事務局から4点報告事項がございます。

まず1点目は、構成員の変更についてです。近鉄バス株式会社より、寺井孝次様に構成員を務めていただいておりますが、人事異動により、新たに永井智久様に構成員にご就任いただきます。永井構成員、よろしくお願いいたします。

○永井構成員 皆様、こんばんは。初めてご参加させていただきます、永井といいます。何分人事異動になったところで分からぬ点多々ありますが、皆様のご指導のほう、よろしくお願いいたします。簡単ですがご挨拶とさせていただきます。

(拍手)

○奥田企画総務課 2点目は、美原区ビジョン2030についてです。構成員の皆様からは、書面にて開催しました第2回堺市美原区政策会議で計画案についてご意見をいただき、その内容を基に計画案の修正を行いました。その後、12月22日から1月21日まで、区民等を対象に計画案に対する意見募集を実施いたしました。提出された意見に基づき修正を行い、3月末に計画を策定する予定でございます。構成員の皆様におかれましては、本計画に対し、度重なる貴重なご意見を賜り誠にありがとうございます。策定次第、皆様にも共有させていただきます。

続きまして3点目は、大阪府立農芸高等学校で行われた、美原区ビジョン2030に関する授業についてです。

資料1をご覧ください。現行の美原区ビジョン2025を基に、美原区の10年後をより豊かにするための活動プランをグループに分かれ考察し、プレゼンテーション形式で発表されました。考察では生徒が1人ずつ、市長、飲食店経営者、中小企業の社長などの役割を持ち、それぞれの視点で活動プランを検討されました。こちらの授業について、大阪府立農芸高等学校校長の浦構成員より一言お願いいたします。

○浦構成員 皆さん、こんばんは。農芸高校校長の浦と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

美原区ビジョン2030のプレゼンテーションは、3年生の演習の授業の中で、生徒たちがそれぞれのいろいろな立場に立って物事を考え、最終的に発表まで行いました。それぞれパワーポイントを使いながら生徒たちは発表を行い、こちらを区長さんや副区長さんや区役所の方に見ていただいたところもご報告させていただきます。

生徒たちからはいろいろな意見出ており、自分たちのところが比較的多かったかなと思いますが、全体を見て答えていたかなと思います。意見としては、区分けをして政策をすとか、美原にもっと人を呼ぼうなど様々な意見が出ており、またそれも提供させていただきましたので、もしよければ後からご覧いただければと思います。

○奥田企画総務課 続きまして4点目は、二十歳の集いアンケートの実施及び結果についてです。

資料2をご覧ください。前方のスクリーンでも投影しております。

1月12日に開催されました「美原区二十歳の集い」で、美原区ビジョン2030の周知を図るため、概要を

パンフレットに掲載いたしました。このパンフレットは参考に皆様にもお配りしております。

また、以前より構成員の皆様から、若者のご意見を聞く機会があればとお声をいただいておりますので、二十歳を迎えた来場者を対象にアンケートを行いました。質問は、美原区ビジョン2030の基本方針3「やってみたいが実現できる」に併せ、二十歳を迎えたあなたがやってみたいこと・挑戦したいことについて、お伺いしました。

アンケートを行った結果、来場者310人中127件の回答を得ることができました。いただいた回答の一部を企画総務課の北口課長よりご紹介いたします。

○北口企画総務課長 北口です。よろしくお願いたします。

お手元にあるのが当日配られたパンフレットで、その中に、前方にも投影している美原区ビジョン2030のご紹介のページがございます。例年通りの紹介に加え、今回は趣向を凝らしまして、二十歳の皆さんに美原区のビジョン2030のことを少しでも知っていただく一助になればと思い、アンケートを実施しました。お手元の集計表をご覧ください。資料左側に「地域貢献・社会貢献」、資料上側に「仕事・就職」「仕事・起業」などカテゴリ分けをしております。回答はやはり仕事に関する内容が多く、64件が仕事関連ですが、その中に「地域貢献・社会貢献」につながるような回答は47件もございました。例えば、「地元で貢献できるボランティア等に参加してみたい」や「地元をもっと知ってもらいたい」、「お世話になったこの地域に貢献したい」などの意見が多く寄せられ、非常に興味深い結果でした。こちらとしては特にそのような内容を書くよう求めたわけではないのですが、127件中47人の方が、地元のことを考えておられたり、または社会貢献の視点で仕事を捉えておられたりすることが見てとれました。あとは参考ですが、この地域貢献の中に15件、「地域のまつりを盛り上げたい」や「黒姫山古墳でお花見」、「三中フェスタを復活させたい」など、地域のイベントに関するご意見もいただいております。また、次のページでは、世界に目が向いている若者も10人ほどおられたという面白い結果が得られました。

以上でございます。

○奥田企画総務課 事務局からの報告は、以上でございます。

ここからは、堺市美原区政策会議開催要項6（2）の規定に基づき、堀内座長に進行をお願いいたします。

6 議事

○堀内座長 次第に沿って進行させていただきます。皆様には円滑な議事の進行にご協力お願いいたします。では、案件1「健康寿命の延伸」について、事務局から説明をお願いします。

○北口企画総務課長 それでは、ご説明いたします。

美原区ビジョン2030では、基本方針1「安全・安心に暮らせる」及び基本方針3「やってみたいが実現できる」に、新たに健康福祉分野の観点を取り入れました。また、堺市では「さかい健康プラン」を策定しており、堺市の現状と課題を踏まえ、健康寿命の延伸を目指す方針が示されております。

これから行うグループワークでは、健康寿命の延伸につながる個人の行動と健康状態の改善について、皆様の日頃どのような取組を行っているか、今後地域でどのような取組を行っていきたいかを意見交換してい

ただこうと思います。

グループワークに入る前に、「さかい健康プラン」の概要について、美原保健福祉総合センター所長の西本から説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

○西本美原保健福祉総合センター所長 総合センターの西本です。よろしくお願いいたします。

今日は、すべての市民が、心身ともに健康で、充実した生活を送れる社会の実現を目指すプラン「さかい健康プラン」について、簡単ではありますがご説明をさせていただきます。

本プランは、「堺市健康増進計画」「堺市食育推進計画」「堺市歯科口腔保健推進計画」の3つの計画について施策の関連性を考慮し、一体的に策定したものです。2023年に評価・見直しを行い、2024年から2035年を計画期間としております。

本プランのビジョンは、「すべての市民がいくつになっても、心身ともに健康で、充実した生活を送ることができる社会の実現」とし、誰一人残されることのない健康増進活動、そして、より実効性を持つ取組を推進するものとなっています。

基本的な方向としましては、健康寿命の延伸のために、市民の皆様が自分の健康に関心を持ち、主体的に健康的な生活習慣を取る「個人の行動の改善」、健康的な生活習慣による「健康状態の改善」、個人を取り巻く「社会環境の整備と質の向上」に取り組む内容となっています。また、現在の健康状態は、次の世代の健康にも影響を及ぼすという可能性があることから、ライフステージやライフコースアプローチを踏まえた健康支援の展開が重要と考えた記載になっています。

次に、「堺市の現状と課題」についてご説明させていただきます。

まず、皆様ご存知のように、寿命には2種類の言葉があります。「平均寿命」、これは生まれてから亡くなるまでの年数の平均です。日本人の平均寿命は世界でもトップと言われています。次に「健康寿命」、健康寿命とは日常生活に制限のない期間、いわゆる元気でいられる期間のことです。

さて皆様、現在の堺市民男性の「平均寿命」はどれくらいだと思いますでしょうか。少し考えてみてくださいませでしょうか。正解は、2番の81歳です。では次に、女性の「平均寿命」はどれくらいだと思いますでしょうか。これは皆様ご想像のように、3番の87歳です。「平均寿命」は2020年（令和2年）で、男性81.1歳、女性87.5歳です。全国・大阪府・堺市ともに「平均寿命」は年々伸びています。

では次に、現在の堺市民の男性の「健康寿命」は何歳だと思いますでしょうか。先ほど「平均寿命」は81歳でした。正解は、3番の72歳です。次に、女性の「健康寿命」は何歳でしょうか。先ほど「平均寿命」は87歳でした。これは3番の74歳になります。

「健康寿命」の推移を見ますと、男女ともに「健康寿命」は伸びてきています。男性の「健康寿命」は、大阪府をおおむね上回って推移していることが分かります。女性の「健康寿命」は、少し大阪府を下回っているという状況です。皆様お気づきのよう、「平均寿命」と「健康寿命」は同じではなく差があります。この赤字の部分の差が日常生活に制限のある不健康な期間ということを意味しますが、先ほどのグラフにありました「平均寿命」の伸び以上に「健康寿命」を伸ばすことによりまして、不健康な期間を短縮すれば個人の生活の質を上げることができます。

さて、では「健康寿命」を伸ばすためにはどうすればいいのでしょうか。なるべく疾病を予防して、そしてまた病気になるにしても早期発見をして早期に治療をすることです。

「健康寿命」に関連する、この死亡率データを見てみますと、堺市民が死亡する原因の第1位は悪性新生物、次に心疾患、次に老衰という順番になっておりまして、この3つで50%を占めています。こうした疾患をなるべく予防できたらということです。皆様、この中を見てお気づきかもしれませんが、実は1980年代は、脳血管疾患が昭和の初めは第1位でした。その後、昭和の中頃から第2位になりまして、ここ数年では脳血管疾患は第4位になっています。これは高血圧予防、そして減塩、医療の進歩によるものと言われていいます。これまでの取組によりまして、死亡順位に変化が出てきているわけです。死亡の原因となる疾患を予防することが可能だということが、ここでもわかります。

先ほど、死亡原因の第1位であった、がんの関係データを見てみますと、5つのがん、胃・肺・大腸・子宮・乳の受診率は増加傾向にあります。受診率、受診する人が増え、早期発見されれば治療ができ、生存率が上がります。がんは細胞分裂の過程でDNAがコピーされる際にコピーミスが起こることが原因の一つです。このミスが特定の遺伝子に起こりますと細胞が異常に増殖し、がん細胞になってきます。ということは、全ての人に可能性はあります。このミスが起こる理由に、生活習慣や加齢・ストレスなどがありますが、習慣の改善で一定予防も可能なものです。

この表から、堺市民の受診率が上昇していることはよいことですが、ほかの国と比較しますと、まだまだ日本は受診率が低い状況にあります。

次に、「健康寿命」を伸ばすための、もう一つの観点。これは介護が必要となる原因を減少させることです。介護になる原因で最も多いのは認知症です。次に脳卒中、その次に骨折・転倒・高齢による衰弱・関節疾患の順で多くなってきています。これらは全て、生活習慣を改善することで予防が可能です。

では、この後は健康に関連する堺市民データをお示しさせていただきます。今日のディスカッションの参考になればと思っております。

こちらは、要介護認定率の推移です。少しずつ上昇してきておりまして、初めて要支援・要介護認定が必要になった理由は、骨折と転倒です。

次に、フレイルの認知度です。フレイルとは、加齢に伴って心身の活力が低下し、要介護状態なる前の段階を示します。簡単にいいますと、健康と要介護の間のグレーゾーンのことです。フレイル予防は若い頃からの積み重ねが大切ですが、この言葉や意味について知っている人は、このグラフで見分かりますように3割ほどしかありません。将来のフレイル予防のため、食生活・運動、そして歯と口の健康を保つことはとても大切です。かむ・しゃべる・飲み込む力が低下しますと、食事の質の低下・活動の低下、そして誤嚥性肺炎にもつながります。これも予防が可能です。このフレイルという言葉を知っている人は、知らない人と比べて要介護が低いという結果も出ています。

次に、高血圧の状況です。心疾患や脳血管疾患・認知症など、こうした病気を防ぐために、その原因となる状態を予防・改善することは大切です。これはナショナルデータベースの国全体の医療機関のレセプトデータと特定健診のデータをまとめたものです。年齢を重ねることによって高血圧の該当者が増加しています。そ

れは、生活習慣の積み重ねと年齢による血管の柔軟性の低下、そして腎機能の低下によるナトリウムの排泄の低下が理由と考えられます。年齢を重ねることは仕方ありませんが、血管の柔軟性や腎機能の低下を防ぐ生活習慣で、このグラフの上がりやを緩やかにすることは可能だと考えます。

次に、糖尿病の状況です。糖尿病も年齢とともに増加していることが分かります。理由は、生活習慣の蓄積・膵臓からのインスリンの低下などの影響です。長年の食習慣・運動不足・肥満などは、インスリン抵抗性を高めます。インスリンが出ていても体が使えないということがインスリン抵抗性です。また、加齢により膵臓のβ細胞の働きが弱まり、インスリン分泌能力が低下してきます。加えて、年を重ねますと筋肉量の低下・運動量の減少による内臓脂肪の増加によるインスリン抵抗性の悪化により増加してくるものです。これも先ほどのように、若い頃からの予防で上がりやを緩やかにすることは可能と考えます。

ほかのデータも少し紹介させていただきます。

朝食を食べる子供の割合は80%、2割は食べていません。20代・30代でも20%から30%は欠食しています。朝食欠食は活動力の低下・学習効果の低下・昼食夕食の増加につながり、血糖値が上がったり下がったりするため糖尿病のリスクや血管への負担があります。これも若い頃からのよい食生活が大切です。

次に、喫煙の状況です。様々な疾患になるという健康への害は、今や広く知られていまして減少傾向にあります。

次に、歯と口の健康です。何でも食べることができる人の割合は増加しています。一方、歯周炎・進行した歯周炎のない人は低下しています。一見悪いように感じますが、高齢期になっても歯が残ってる人が増えてきた結果かと思われます。東北大学の調査では、歯が残っている人は、認知症や死亡リスクが低い・転倒リスクが低くなるという研究結果もあります。口の健康が全身の健康に影響があることから、若い頃からの意識が大切です。

次に、心の健康です。睡眠を十分取れているという回答は2割ほどになっています。まあまあ取れているという人と合わせると75%ほど。

次に、アルコールです。アルコールを週4回以上飲む人は24%ほどいらっしゃいます。生活習慣病のリスクを高める量の飲酒、純アルコール20グラム以上、これはビールでいいますと中瓶1本、お酒でいいますと1合、焼酎だと2分の1杯、ウイスキーはダブル60ミリリットル、ワイン2杯に当たるんですけども、こういった量を飲んでいる人は、40歳・50歳で20%ほどいらっしゃいます。

これらの堺市の市民の現状を踏まえまして、健康寿命の延伸に向けた主要な堺市の健康課題として、皆様のお手元にお届けいたしました、この9つの健康課題を「さかい健康プラン」では策定いたしました。この健康課題改善の考え方が、個人による行動とともに社会環境の整備と質の向上、そしてライフステージやライフコースアプローチを踏まえた健康支援の展開も必要と考え、取り組む計画となっています。

さて本日は、「個人の行動」と「健康状態の改善」に焦点を当てまして、皆様でディスカッションをお願いしたく思います。実践を共有することで、自分の健康からみんなの健康へのヒントがつかめる、今日はグループワークの時間としていただければと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、車の車検をして車をお手入れしていったら長もちするように、健診を受けて、少し悪いと

ころが見つかったなという段階で改善していけば体も長もちするわけですよね。そのために健診を受けていただきたいんですが、なかなか健診受診率が伸びません。その中で、先曰うれいなお話がありましたのは、堺市の中で健診・受診率がトップである区は、美原区でございました。大変うれしいことでした。美原区の中でも、さらに国の目標値に到達している校区がございました。それが、さつき野校区でした。2人に1人の人が健診を受けてくれていました。今日はもし、さつき野校区の方がいらっやいましたら、さつき野校区で何か皆様がされていることなども今日のお話で、ぜひヒントを教えていただきたいなと思っております。

私のお話は以上です。ありがとうございます。

(拍手)

○北口企画総務課長 西本所長、ありがとうございました。

それでは、グループワークに移りたいと思います。

グループワークでは、今の説明や、それぞれ取り組んでいただいた事前ワークを活用しながら議論を進めていただければと思います。

グループワークの進め方ですが、各グループのファシリテーターに、松本構成員、大和構成員、堀内座長にお願いさせていただきました。ファシリテーターの皆様、よろしく願いいたします。グループの意見の取りまとめをお願いします。また、発表はファシリテーター以外の方に行っていただいても構いませんので、よろしく願いいたします。意見交換は、まとめ作業も入れて、35分ほどを予定しております。時計でいいますと、8時10分頃までにまとめも入れて終わっていただけたらという希望でございます。また、10分ごとに経過時間をお知らせいたします。まとめやすくするために、お手元の付箋にご意見をご記入いただきながら模造紙に貼っていただき、最後にそれを見ながら、皆様で模造紙の上で整理をしていただければと思います。また、グループで意見を出し合って本日発表いただきますが、時間が足りない場合や後日追加で思いついたことなどがあれば、事後資料を用意しておりますので、事務局に送っていただけたらと思います。それではスタートしたいと思います。ファシリテーターの皆様、よろしく願いいたします。

<<グループ討議>>

○堀内座長 まだ議論は尽きないかもしれませんが、時間もありますので、こちらで終了とさせていただきます。

では、全グループから発表をいただきます。1グループ5分程度で発表をお願いいたします。

ではまず、松本構成員のグループから、出てきた意見の発表をお願いいたします。

○松本構成員 ありがとうございます。補足があればお願いします。

こちらのグループでは、健康寿命の延伸を目指すという目的に対して、まず初めに、個人としてできること、していること、しようと思ってること、あとは地域や組織でやっていること、社会や行政としてやっていることを話しました。

個人としてやっていることは、予防注射や人間ドックの受診、トレーニングをする、お酒止める、食事のバランスに気をつける、ラジオ体操に行くなどが出てきました。

組織や地域の部分でいうと、自治会でチューブ体操やパターゴルフをやったり、木材団地さんであれば人間ドックを受ける方に対する補助をされていたり、あと各企業でもメンタルヘルスの研修を実施したりなどを組

織としてやられています。

また、堺市でもお子さんで考えると、小中学校の給食ってすごく大切だよねというお話が出ました。給食の質を向上させていくということも大切ですし、学校以外の部分でも、こども食堂をされているところでは、季節の野菜を食べるといこともされています。

行政の部分でいうと、国民健康保険に加入されている方がいろいろ安くなるなどの話が出てきました。

そこから、今後どんなことを個人でも企業でも行政としてもやっていったほうがいいのかという話に移っていきました。東構成員からのお話で印象的なところをお伝えすると、タイムリーに今日、職員研修をされており、退職後にやることがある人とならない人によって、体の崩れ方が全然違ってくるというようなお話がありました。その中で、退職後も含めて心と体を使うということが大切であるとの話が出ました。例えば、地域活動への参加や、こどもと触れ合う機会、人とのつながりが持てるような機会というのも、心と体を使う上では大切ではないかというお話が出ました。

また、美原区では農業も力を入れているところもあって、農業をされてる方はすごく元気というお話もあったので、美原区とはマッチするかもしれないというお話も出てまいりました。

あとは、早期発見や早期治療がすごく大切だからこそ、行政として受けやすい体制を構築することや、あとは、パートや主婦の方がなかなか受けようと思っても自分のことは後回しにするといった感じがあるとの話も出てまいりました。

まとめになります。行政の対応としても、何かを地域の人にしてあげるではなくて、地域の方も助けながらしてもらおう、地域の人にもしてもらおうという関わり方がすごく大切で、してもらおう、助けてもらおうというところが、受ける方にとっても自分が社会の役に立ってる自己有用感や自己肯定感にもつながるんじゃないかと。住民との関係も、そういう関わり方にしていったほうがいいんじゃないかというご意見が出てまいりました。

こちらのグループとしては以上になります。

(拍手)

○堀内座長 ありがとうございます。

続きまして、大和構成員のグループから発表をお願いいたします。

○大和構成員 皆さん、ありがとうございます。大和と申します。

このグループではまず健康に対して、話す、食育、歩く、フレイルなどの意見が出ました。フレイルの対策としては、この会議のように社会参加するなどが大切という話をさせていただきました。その中で、高城構成員がいらっしゃる、優秀な健診受診率であるさつき野校区で、どんなことが行われているかというところをいろいろ聞かせてもらいました。

まずは、さつき野がそれだけ健康意識、元気に対する意識が高いのはなぜかというところで、コミュニティセンターが大きな要因の一つなのかなとなっております。なぜコミュニティセンターがあるといいのかというと、そこに行くと健康に対する予防の運動や体操、卓球などの運動に気軽に触れ合える。参加するのに垣根なく、障壁がなく気軽に触れ合える、参加しやすい場所があることで、たくさんいろんな人が集まってきて、またそこで話をする仲間が増えてきて会話が膨らむ。そうして運動の機会がどんどん増えていく、話す機会が増えていく。

定期的にクリニックの先生が来られて健康に対する講話もしてくれて、健康に対する情報もそこに入ってくる。そうすることで、いい循環がどんどんどんどん生まれ、健康に対する意識が高いので、じゃあ健診受けようかという形になっていく。

まとめると、健康に対する情報に触れやすく、健康に対する予防運動ができる場所があるので好循環が生まれて、さつき野校区ではすばらしい結果を迎えているという話になりました。

以上です。ありがとうございます。

(拍手)

○堀内座長 ありがとうございます。

最後に、こちらのグループですが、伯井構成員から発表をお願いします。

○伯井構成員 発表させていただきます。

最初に、どんなことをしていますかという中で、地域のおばちゃん同士、5人から8人ほどで毎日夜30分ぐらい歩きながらおしゃべりしているということで、集まる機会です毎日話すことが一番大事じゃないかというお話がありました。その中で、ほかの集まりでいうとディスコンやラジオ体操なども女性の参加が多いという話になりまして、男性の参加が少なく、特に1人、単身になってしまうと、もう参加しづらいということでございます。では男性をどうやって引っ張り込もうとなったときに、うちのグループは最年少でご参加いただいている構成員もいらっしゃるからお話聞くと、地域のきっかけとして、お祭りやイベントがきっかけとしては一番いいのかなという話になりました。ただ、年齢を重ねてからいきなり、そういうコミュニティに入れますかというハードルが相当高いので、現役世代のうちに地域など仕事以外のつながりを持っておくことが大事ではないかと。その手段として、お祭りや、なくなってしまいましたが地域の運動会などが挙げられるかなということです。ただいきなりがつり入ってもらうというのも難しいので、どうやって緩く入ってもらうというか、少し手伝ってもらえるような仕組みをつくれるかなというようなあたりで、一旦この話題はストップしています。

もう1点が、そのフレイルの話題というのをどうやって広げていくのかというような話になり、気軽に世間話で話せることが必要だよねということをお話しておりました。広報なども必要ですが、フレイルのもう少し前の段階で、現役世代なら会社での朝礼や朝ご飯なども含めて、フレイルについて話す習慣や啓発などが大事なのかなという話をいたしました。

以上でございます。

(拍手)

○堀内座長 伯井構成員、ありがとうございます。

それぞれ違う意見もあったかもしれませんが、全体を通して言えるのは、地域内で情報共有して、お互い気軽に話し合えることが一番大事ということが共通しているのかなと思います。

では、今3つのグループから発表がありました、それを踏まえて各グループから1人ほど何かご意見ありましたらお願いしたいのですが、いかがでしょうか。

○磯部構成員 「親子サークルみはらママ会」という会をやっております。そこでは、運動の習慣のきっかけになればいいなという思いで、大人向けにヨガやベリーダンス、社交ダンス、バランスボールなどのイベントをしたり、

こども向けに足育といって、足裏を刺激して発達を促進させるような遊びをしたり、公園での野外活動、あと食育としてクッキングイベントなどをしております。そのようなきっかけになるイベントや地域でのお祭りが増えると、みんな習慣の一步になるのかなと思います。以上です。

(拍手)

○堀内座長 ありがとうございます。

では、こちらのグループからは、今回初めてご参加いただいた、永井構成員から一言お願いします。

○永井構成員 永井です。今日初めて参加させていただきましたが、皆さん活発的に意見を交換されて、本当に感心いたしました。

私自身もフレイルという言葉は確かに聞いたことがありましたが、正直詳しいことは分からなかったもので、今日は本当にいい勉強になったと思っております。このフレイルをまた会社に戻って、また同僚などにも広めていければなと思っております。どうも今日はありがとうございました。

(拍手)

○堀内座長 ありがとうございます。続いて、阿部構成員お願いします。

○阿部構成員 美原町時代に、ウォークラリーというのがありました。そのときは、多いときだったら1,000人規模で、みんなで歩いて回る。黒姫山古墳のあたりやさつき野あたりなどを歩いて、さつき野のあたりだったら、つつじ作業所の方たちのところに途中寄らせていただいて少し休憩してお茶をいただいて、そこで作業所の方たちとの交流がありました。それから奈良の平城京跡にバス何台かで行って、そこをずっと歩いて回る。それでうちの娘たちが幼稚園のときに、トケイソウというお花を初めて覚えてたんですね。私も名前は聞いたことがあるけれど実際のお花を見たのは初めてで、それも歩いていく途中のお家のお庭にあって、中から出てこられて、これトケイソウっていうのよって言ってこどもたちに話をしてくださって。美原町時代と今は交通事情も違うとは思いますが、何か美原区全体でウォークラリーなどをして、そういうつながりができればいいかなって思います。

(拍手)

○堀内座長 ありがとうございます。いろいろ貴重な議論になったと思います。

それでは、次の案件2「その他」について、事務局から説明をお願いいたします。

○奥田企画総務課 案件2「その他」では、構成員の皆様の活動報告を行います。お手元の資料4をご覧ください。

ここからは、構成員の皆様の取組について、順番に一言ずつ頂戴いたします。お一人1、2分程度で簡単にご発言いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

まずは、11月2日に開催されました「第21回みはら区民まつり」について、田中副座長より一言お願いいたします。

○田中副座長 「みはら区民まつり」は、美原の自治連合協議会が実行委員会となりまして、今紹介いただきましたように11月2日に開催いたしました。先ほどの二十歳の集いアンケートで一番多かった回答がイベントでしたかね。大変心強いアンケートだったなと思います。また、その当日は、構成員の方、受付を通じていただただけでも9名の方にご参加いただきました。受付通っておらない方もおられているように思

います。それから、今年も総合防災センターで開催し、13,000人ほどご参加いただきました。本当にありがとうございました。地域に関心を持っておられる方がたくさんおられるということだと思います。

今回の「まつり」では、「地域のつながり」をキーワードにいたしまして、模擬店やステージ、そして健康のつども同時開催いたしました。3年前まではアルテベルと区役所のほうで行っていましたが、昨年からは総合防災センターで一体的に行っておりまして、大変盛り上がったと思います。

それから併せて、堺の7区全て「区民まつり」を行っていただけるわけですが、美原の特徴といたしまして、「南河内交流フェス」を開催いたしております。これは松原市・羽曳野市・富田林市・大阪狭山市の、近隣市町村との連携をしております。

また、会場では総合防災センターの特徴を活かしまして、防災体験を通じて命を守るということの意識を提供できたのではないかと考えております。

今後とも、皆さん方もぜひご協力いただきまして、自治会の基本である人と人、そして地域と地域のつながりを大切にできるようなお祭りになりたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

(拍手)

○奥田企画総務課 ありがとうございます。

続きまして、1月17日に開催されました、「農芸高校アグリフェス」について、浦構成員と松本構成員より一言お願いいたします。

○松本構成員 資料をご覧ください。「農芸高校アグリフェスin美原文化会館」を1月17日に開催いたしました。

美原文化会館が主催で、共催で農芸高校さん、私たちのほうが協力ということでプロジェクト推進のところまで御協力させていただきました。また、豊岡構成員の日本フツソ工業様と、大和構成員の株式会社エスワイミハラ様にもご協力をいただきまして開催いたしました。

イベントは、農芸高校の生徒たちが普段学んでいることや取組の発表をホールで実施したり、農芸高校で育てられている農作物の販売、料理教室でスイーツを作ったり、羽ストラップ作りなど、本当に様々な企画が行われ、農芸高校生が主体となって実施したイベントでございます。

美原文化会館で実施するのは初めてでしたが、関係者と来場者を合わせて約1,500名にご来場をいただきました。

私からは簡単には以上です。

○浦構成員 この取組は、そもそも生徒たちが主体的になって学校の校庭や校舎を使って行っていたものです。本当に先生が関わらずにやっていたんですけども、今回は美原文化会館と松本構成員からお声かけいただいて、今回のイベント開催になりました。この3月で美原高校が閉校というようなことになり、農芸高校が美原唯一の高校になるということで美原区を盛り上げていこうということで、開催させていただきました。たくさん来ていただきましてありがとうございました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

(拍手)

○奥田企画総務課 ありがとうございます。

続きまして、1月18日に開催されました「美原区おむすびフェア」について、引き続きで恐れ入りますが、松本構成員より一言お願いいたします。

- 松本構成員 「おむすびフェア」のチラシをお配りしております。この「おむすびプロジェクト」は今年度から実施しており、八上小学校の5・6年生が合鴨農法でお米を育て、連携先の株式会社山徳さんへ海苔の工場見学に行き、おむすびの商品開発を行って販売するという、授業の一環で行っているプログラムです。生徒が企画したおむすび3商品、「梅・塩・サバおむすび」と「たご焼き風おむすび」、あとは農芸高校さんの「鴨みそおむすび」を1月18日に販売をさせていただきました。200から250個ぐらいご用意していましたが、全てすぐに売り切れたというような状況でございます。いろんな方々にお越しただけてよかったなと思っております。

一つご案内です。「おむすびプロジェクト児童による成果発表会」を2月27日金曜日の午後2時から5時まで、八上小学校で実施します。そこでは、年間の取組を通じて、5・6年生の児童が学んだことを発表していくということになっております。ぜひ興味ある方はよろしくをお願いいたします。私からは以上です。

(拍手)

- 奥田企画総務課 ありがとうございます。

続きまして、「美原の古代米」で、湯井構成員が所属されております「美原の古代米プロダクツ」が、近畿農政局の「ディスカバー農村漁村（むら）の宝」において、コミュニティ地産地消部門の優良事例として選定されました。誠にありがとうございます。

(拍手)

- 奥田企画総務課 さらに、2月2日より、「美原の古代米スタンプラリー」も開催されます。こちらにつきまして、湯井構成員より一言お願いいたします。

- 湯井構成員 美原区古代米プロダクツ、湯井です。

このたびは、近畿農政局から「ディスカバー農村漁村（むら）の宝」の中で、コミュニティ地産地消部門で選定証を授与いたしました。この証をいただきましたのも、美原の古代米プロジェクトの一つとして、美原区役所の方々、また協力事業者の方々、そして地域の皆様方のご協力、お力添えがあってこそこの受賞であったと、プロダクツのメンバー4人全員とても喜んでおります。本当にありがとうございました。これからも引き続き頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

その中の一つとしまして、「美原の古代米スタンプラリー」を開催いたします。昨年も実施したんですけども、期間が1か月と短かったので、今年は2か月に延ばしております。古代米を使った料理、ケーキ、クッキー、ピロシキなどを買ってもらう、食べていただくことでスタンプを押していただき、4つたまったら記念品と抽せん券をお渡しします。10名様に3,000円の商品券が当たりますので、ぜひ2月2日から3月29日の期間ですが、8つの事業者で開催しておりますので、ご参加のほどよろしくお願いいたします。

(拍手)

- 奥田企画総務課 ありがとうございます。

最後に、2月3日に開催されます「第5回おおさかアグリイノベーショングランプリファイナル」について、松本

構成員より一言お願いいたします。

- 松本構成員 大阪府主催の、都市農業のイノベーションを生み出すためのビジネスプランコンテストがありまして、ありがたいことにグランプリファイナルに選ばれ、2月3日に最終プレゼンテーションを実施します。「都市農業の課題を“まち”でマルっと解決！アグリ・サーキュラー・コモンズin堺市（菅生新田地区）」という題名で、農芸高校さんの合鴨農法や、堺の地産地消を推進していくための取組等も発表させていただく予定です。もしご興味があれば、QRコードから詳細に飛びますので、またそちらをご覧くださいいただければうれしいなと思っております。2月3日が終了してから、どの賞になるかが決まるかなと思いますので、また皆様にご報告ができればなと思っています。以上です。

(拍手)

- 奥田企画総務課 ありがとうございます。

これからも、構成員の皆様がご参加いただけるようなイベント等がございましたら、事務局へお知らせください。

案件2「その他」は、以上でございます。

- 堀内座長 それでは、本日の案件、これで全て終了しました。事務局にお返ししたいと思います。

- 奥田企画総務課 堀内座長、議事進行ありがとうございました。

それでは最後に、区長から一言ご挨拶させていただきます。

- 小川区長 皆様、大変お疲れさまでした。活発な意見交換をしていただきまして、本当にありがとうございます。

「美原区ビジョン2030」については、農芸高校の高校生の皆様や二十歳の集いでの来場者の皆様、若い方の夢と希望がこもった意見を聞きまして、本当にうれしく思います。地域へ目をすく向けていただいていることについては本当に心強く思いました。

「健康寿命の延伸」では、歩く・食べる・しゃべるですね。これは人とのつながりが健康には非常に大事なことのだと思いました。人間ドックなど年1回でもいいですので、自分の体質などを知ることが健康へとつながっていくと思いますので、個人のこれからの行動が、また地域、ご家族などが変わるきっかけになって広がっていけばいいなと思いました。健康の受診率が美原区1位、さつき野校区の方ももちろんですが、ほかの校区の方も含めて1位をぜひキープしたいと思いますので、皆様に広がってくればいいなというふうに思っています。本当に今日はありがとうございました。

(拍手)

- 奥田企画総務課 ありがとうございます。

以上をもちまして、令和7年度第3回堺市美原区政策会議を閉会いたします。

なお、事前ワークをお持ちいただいた方は事務局が回収いたしますので、机の上に置いたままご退室いただきますよう、お願い申し上げます。

本日は、お忙しいところお越しいただき、ありがとうございました。

(20時41分 閉会)